

第30回「緑の環境プラン大賞」の受賞団体決定

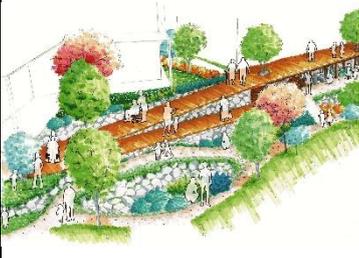
第一生命保険株式会社(社長:稲垣精二)が出捐した一般財団法人第一生命財団(理事長:森田富治郎)は、この度、第30回「緑の環境プラン大賞」の受賞団体を決定しました。

全国から、シンボル・ガーデン部門19点、ポケット・ガーデン部門33点、特別企画「おもてなしの庭」4点、計56点の応募があり、2019年月19日の審査会において次の作品の受賞を決定しました。

◎国土交通大臣賞 [2点]

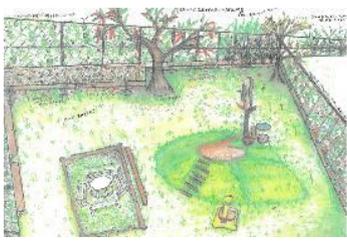
部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	藝大上野キャンパス 上野と谷根千をつなぐみちひろば (東京都台東区)	東京藝術大学 キャンパスグランド デザイン推進室	上野公園と谷根千エリアをつなぐ通りに、誰もが歩いて楽しい「みちひろば」をつくる。四季折々の表情を見せる花木により、キャンパスの境界をやわらかな親しみのあるものへと改善し、景観向上とともに道路際に休憩スペースを設け地域を結ぶ空間づくりを行う。	
ポケット・ガーデン	地域の文化遺産の 庭園を活用した 交流と体験の広場 (茨城県つくば市)	特定非営利 活動法人 ヤナカノモリ 「矢中の杜」の 守り人	国登録有形文化財「矢中の杜」の庭園の一部を整備し、地域住民や地元の子供たち、観光客などが緑に囲まれた空間で交流し、草花や土、木に触れながら楽しく様々な体験ができる広場を作ることを目的とする。	

◎緑化大賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	青山通り 緑のおもてなし 風景街道 (東京都 渋谷区・港区)	特定非営利 活動法人 渋谷・青山 景観整備機構	青山通りが世界に誇れる美しい街路空間となることを目指し、街路の植込みを中心に、宿根草やグラスを組み合わせた統一したデザインの植栽を施す。魅力的な緑化景観をつくるとともに、そのメンテナンスを地元住民や企業社員のボランティアが担うことで、地域づくりに取り組む。	
シンボル・ガーデン	みなが出会い・育み・ 共に生きる 「みのりの緑地」 (兵庫県神戸市)	特定非営利 活動法人 こどもコミュニティケア	保育園、障がい児デイサービス、介護施設が共存する区画に「みのりの森」をテーマにした緑化空間を創出する。多様な人々が共有できる緑空間をちりばめ、「みのりの回廊」として結ぶ。地域の方々との協働管理を通じ、障がいや疾病の人々が共に生きる地域社会づくりに取り組む。	

◎コミュニティ大賞 [9点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	樹齢140年 江南の藤・藤棚リフレッシュプロジェクト (埼玉県熊谷市)	江南の藤保存会	樹齢 140 年の県内最大級の藤を支える藤棚は、老朽化が進み、525 m ² にも広がった枝の剪定作業などに危険を感じる状態になっている。この貴重な江南の藤保存に不可欠な棚の改修工事を、自然の多様性啓発に結びつけ、市民に広報・公開していくのが今回の事業。	
ポケット・ガーデン	かしわ・みんなの杜 (千葉県柏市)	社会福祉法人 ぶるーむ	道路拡幅工事により喪失した林縁・林床植生の復元を図るとともに、障がいをもった子供を含むすべての地域の子供たちや住民に森を楽しんでもらえるよう、五感で楽しめる計画としている。また、密集住宅地内に唯一残存する森林として在来種のみを植栽し、地域の生態系に配慮した計画としている。	
ポケット・ガーデン	海辺の森 花咲く小路プロジェクト (新潟県新潟市)	NPO法人森の会	海辺の森は、120ha という広大な保安林内に総延長 8.4 kmの遊歩道がある。拠点となるキャンプ場内の単調な遊歩道沿に四季を彩る花壇を整備し、地域住民はもとより、訪れる観光客・キャンパーに「来る人に感動を！ 去る人に幸せを！」をフレーズとした花咲く森をつくる。	
ポケット・ガーデン	エリア3プロジェクト ～みんなで育み 集う場所～ (静岡県牧之原市)	川崎絆づくり	「みんなで育む場所」をコンセプトに、空き地を利用し、季節の草花が咲く「彩の庭」、心地よい香りで癒され楽しむ「かおりの小路」、芝生の上で寝転んだり絵本を読んだり、マルシェを開いたり、いろいろに楽しむことができる「賑わいみどりの広場」を、作業ごとに多くの人の参加を得ながらつくっていく。	
ポケット・ガーデン	花と緑で繋がる テラス 「重利の里山公園」 (京都府亀岡市)	シグトシ 重利の山を守る会	住宅近辺の人工林を住民が自ら間伐し、山全体を公園化する目的で整備している。今回は、山の入り口部分を花と緑のテラスにして、季節の花に囲まれたオープンカフェを開催し、地域のお年寄りから子供まで、誰もが気軽に集え元気になるコミュニティの場にしたい。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	食と植のまちにわ (大阪府柏原市)	大正通り商店街 サポーターズ	商店街の中心に位置する空き家が、広場をともなう複合施設に再生される。その広場の一部を無償で借り受け、食べられる植物・加工できる植物を含む緑を整備し、子供たちと近隣住民・商店主が交流・食育・ものづくりを行い、地域と親しむ場所とする。	
ポケット・ガーデン	世界文化遺産 姫路城 中曲輪 バタフライガーデン 創造事業 (兵庫県姫路市)	兵庫県 姫路市立 ハクロ 白鷺小中学校	学校と地域の協働で、姫路城の眼前に 400 年前のジャコウアゲハの飛び交っていた風景を再現する。名称を『中曲輪バタフライガーデン』とし、地域はもとより、姫路市とも協力して年間 200 万人の観光客を対象に、蝶の生態観察の行える新たな体験型の観光スポットを創造し、地域活性化につなげる。	
ポケット・ガーデン	花と緑で 人とまちをつなぐ、 保育園とつくる公園 (福岡県福岡市)	フルコガラス 古小烏公園 愛護会	コンクリートを剥がし、緑の面積を増やすことで全体を明るい雰囲気にするとともに、ヒートアイランド現象の緩和効果も期待している。また、行政・保育園・地域と協力し、誰でも参加できることを大切にする。花だけでなく、小さな畑や果樹園をつくり、地域の子供たちと学びあえる環境を作る。	
ポケット・ガーデン	身近な自然に触れ 道行く人と鳥や虫が 憩う花と緑の広場 (沖縄県沖縄市)	社会福祉法人 愛の泉保育園	「花のようにやさしい子を育てる」(花を通してやさしい心を育てたい)という理念のもとに、園内外を県産の草花で彩り、自然に親しみながら季節の魅力や変化を楽しめる園庭整備を行う。また、みどりを通じて、子供たちや道行く人々の笑顔を誘い、良質な保育環境の創出及び地域との交流を目指す。	

◎「おもてなしの庭」大賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
特別企画 「おもてなしの庭」	匠の庭師が 日本庭園文化を 世界に発信 (東京都港区)	一般社団法人 日本造園組合連合会	多くの観光客が訪れる芝公園に日本庭園の伝統の技と江戸園芸文化を気軽に鑑賞・体験できるおもてなしの庭を創出する。 2020 年東京オリンピック・パラリンピック時には、庭技のパフォーマンスや竹の花火の飾りで国内外のお客様をもてなし、はなやいだ雰囲気 연출する。庭園文化や技術の発信とともに、その伝承を目指す。	

第30回 緑の環境プラン大賞 の概要

■ 目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等を図るものです。また、東京都内を対象として「おもてなしの庭」プランを公募し、優れたプランを表彰・助成することで、花と緑で観光客を迎えるおもてなし空間の創出を図ります。

■ 募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	地域のシンボリックな緑地として、緑のもつヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集します。
特別企画 「おもてなしの庭」	東京都限定	2020年に向けた特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする魅力ある緑の創出、およびその場所でのおもてなしの活動に関するアイデアを盛り込んだプランを東京都内限定で募集します。

■ 表彰

● シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞800万円以内（工事に対する助成金）
緑化大賞	2点程度	副賞800万円以内（工事に対する助成金）

● ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞100万円以内（工事に対する助成金）
コミュニティ大賞	9点程度	副賞100万円以内（工事に対する助成金）

● 「おもてなしの庭」プラン

おもてなしの庭大賞	1点	副賞2,020万円以内（工事及び活動に対する助成金）
-----------	----	----------------------------

■ 審査委員

委員長	進士 五十八	福井県立大学 学長 / 東京農業大学 名誉教授
委員	金子 忠一	東京農業大学 教授
	北村 知久	国土交通省 都市局長
	鈴木 裕一	株式会社産業経済新聞社 上席執行役員
	永山 妙子	マネジメントコンサルタント
	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
	村上 暁信	筑波大学 システム情報系 教授
	稲垣 精二	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	小野 文夫	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	高梨 雅明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■ スケジュール

募集期間	2019年4月1日～6月30日	入選発表	2019年10月11日
審査会	2019年9月19日	表彰式	2019年11月25日 於：明治記念館

■ 主催等

主催：公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
 後援：国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、東京都（おもてなしの庭）
 特別協賛：第一生命保険株式会社
 協力：一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本公園緑地協会、
 一般社団法人日本造園建設業協会、都市緑化基金等連絡協議会
 株式会社フジテレビジョン、株式会社産業経済新聞社、株式会社ニッポン放送